

進文明 磨知後 振之志 重座恥 明大義 心倫理

同窓会会報

同窓会会報

平成21年度
特別版

編集・発行：済々巒同窓会
〒860-0862 熊本市黒髪2丁目21番50号
財多士会館内
☎096-345-3002 FAX096-346-3225
(ホームページアドレス) <http://www.seiseko-dosokai.gr.jp>
この会報は「特別版」としてHP閲覧と同窓会事務局(多士会館)にて任意配布用に作成したものです。
学年同窓会配布等の希望がありましたらご相談下さい。

同窓会

社会人同窓生が語る就職相談会

青年会主催

平成21年9月12日、多士会館にて済々巒同窓会青年会主催で就職相談会が開催されました。

これは大学3年生(今年度は主にH19卒)対象に、既に就職し働いている先輩から「働くこと」「社会人とは」から「実務」や「給料」の深い話まで直接聞いてしまおう!という催しです。今回はH2卒が幹事となり、説明する側には県・市の公務員、県内企業(メーカー、金融機関、マスコミ関係、医療関係等)約50名の方々にご協力を頂いて、学生側も60名近く集まりました。

会は、まず社会人参加者から自己紹介や自身の仕事の説明をして頂き、次に今年の就活で内定を取ったばかりのH18卒(今年度大学卒業)2名に内定までの体験談をしてもらいました。学生側は身近な先輩の話なので皆真剣!

更に個別面談会では各人が希望する業種の先輩に話を聞き、あつという間に2時間が過ぎました。学生の参加アンケート結果も非常に好評。また社会人側からも、改めて自分の業務を話す事で自らの再認識になった等々たくさんの方の好意的な意見が寄せられました。

将来についてまだ迷いつつ真剣に考える後輩の想いに触れ、こちらも新鮮なキモチを思い起こします。そして可能な限り自分の体験を先輩達に役立ててもらいたい、それが参加同窓生の共通の気持ちのようです。段取りや準備は大変でしたが有意義な会を開く事が出来たと思います。ご協力いただいた同窓生の皆様、ありがとうございました。

学生のみならず、頑張れ就職活動!!
青年会会計・永村哲宏(H2卒)



▶後半の個別面談会。
OB側も今の仕事について再確認する場となった。毎年秋に実施している。



▲聞きたい業種の先輩から話を聞く参加者



▲前半は主催挨拶後、就活体験談スピーチなど

学 習

『済々元気DAYS』

「存じますか!!熊高との交流」

県の「くまもと教育の日」が定められたことを受け、我が巒と熊本高校とは連携事業が実施されています。互いの教育力向上のために責務の重大さを自覚し、新たな思いで教育に取り組み契機としています。連携と協力で交流を通じた教育振興のための二つの取り組みをご紹介します。

(I) 学校参観週間

今年は11月9、13日実施
会場は済々巒高校及び熊本高校。保護者や地域住民に互いの授業や施設を参観してもらうとともに、両校の教師は互いに情報交換や研修を深めることを目的としています。

(II) 野球対抗戦 11月13日実施

おなじみの定期戦! 県営藤崎台球場で全校応援。親睦と各々の団結を図る機会となっています。今年もはつらつとしたプレーと応援が繰り広げられました。熊高が先制で2点先取したが、6回反撃4点を奪つて展開へ。しかしその6回途中、雨で中止となりました。

(レポート・広報委員会)



▶両校揃っての「選手宣誓」



▶反撃の兆しに熱の入る応援

2009年9月26日開催 同窓会役員&代表評議員懇親会 (写真は敬称略)

同窓会役員とは?

会長、副会長、幹事長、常任幹事、幹事、会計監査によって構成され、同窓会会務の企画、運営にあっています。

平成21年9月26日、熊本市上通の「和教奇」にて、役員・代表評議員懇親会が開催されました。これは役員・代表評議員相互の懇親を目的に6年前から同窓会で企画され今回で7回目。当日参加者は学費側から参加の方々も含め、過去最高の73名でした。会場では同じテーブルに近い世代が座り、同じ時代を過ごした同士でひと際話が盛り上がったり、または先輩後輩へと声を掛け合ったりと賑わい楽しいひとときとなりました。(担当委員会：総務)



後列左から 弓削淳昌(S22卒)、西岡輝雄(S30卒)、高橋等(S18卒)、加来俊彦(S25卒)
前列左から 笠猪一郎(S29卒)、田邊國治(S26卒)、緒方秀逸(S17卒)、古閑孝之(S24卒)



後列左から 岩永研一会長(S26卒)、真開純洋覺長、西本守教頭、福永勝則教頭(S48卒)
前列左から 與繩義昭副会長(S35卒)、中西満雄副会長(鬘友会S30卒)、城戸克二副会長(S37卒)、新開徹幹事長(S43卒)



後列左から 松岡秀一(S38卒)、徳永公治(S32卒)、佐々孝雄(S37卒)、西村尚常任幹事(鬘友会S35卒)、坂口勝彦常任幹事(S33卒)
前列左から 山嵩島(S34卒)、井薫常任幹事(S32卒)、緒方正一(S35卒)、水間弘雄(S33卒)、杉本紘一(S36卒)



後列左から 江口正明(S43卒)、添島廣陸(S45卒)、進朗(S39卒)、立川和敏(鬘友会S39卒)、布田悟(S46卒)
前列左から 山内稔(S40卒)、東求幹事(S40卒)、寺崎温子(S41卒)、生田真由美幹事(S47卒)、河内正(S44卒)



後列左から 杉浦康治常任幹事(S52卒)、園川校(S55卒)、上村哲也幹事(S53卒)、鮫島伸宏(S52卒)、松本博昭(鬘友会S53卒)
前列左から 今井政文常任幹事(S49卒)、白石正治(S48卒)、久木田憲司幹事(S48卒)、中野和光幹事(鬘友会S50卒)



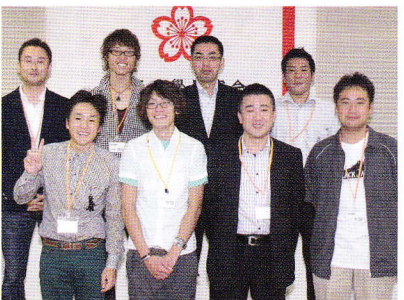
後列左から 正代孔紀(S62卒)、浅香英夫幹事(H1卒)、高野正太来年度大同窓会実行委員長(H1卒)、吉田一浩(S63卒)
前列左から 宮崎久俊(S60卒代理)、村上博一(S56卒)、石丸昌美幹事(S56卒)、片桐英夫常任幹事(S58卒)、本田洋一今年度大同窓会実行委員長(S63卒)



左から 西本守教頭、真開純洋覺長、福永勝則教頭



後列左から 宮田房之幹事(S59卒)、小野川和裕幹事(S41卒)、津留伴一幹事(S46卒)、勝久卓治幹事(S63卒)
前列左から 中村友花理事務局員(S59卒)、野田研一幹事(S50卒)、坂井木綿子常任幹事(S60卒)、山下三美子幹事(H6卒)、楠田節子事務局員(S52卒)



後列左から 永村哲宏青年会会計(H2卒)、池山洋輔(H18卒)、新宅政輝幹事(H2卒)、甲斐智和(H6卒)
前列左から 竹田翔海(H20卒)、守田和憲(H19卒代理)、新田哲也(H3卒代理)、和光光司(H7卒)



左から 中西信雄(S50卒)、柴田弘之(S57卒)

代表評議員とは?

学年毎に1名選出され、評議員会において、同窓会の重要な会務について審議します。また、各学年の連絡、調整等に当たっています。



宅建多士会

宅建多士会は、済々黷創立100周年を契機に母鬻を愛する17名の有志により、昭和58年に設立されました。多士会館2階の大教室には、宅建多士会創立の記念に寄贈した掛時計が今もなお後輩たちの勉学を見守っています。

会員相互の親睦会として、今回10月に人吉一泊旅行を企画しました。「鹿の目の滝」、国宝の「青井神社」

「永国寺」等を見学し、絵葉書のよう

に美しい「鬼の口の棚田」にはいつまでも見とれていました。帰路は今話題の川辺川に向かいました。中断された工事が放置され、代替地には真新しい学校や民家が建ち並ぶ姿を見るにつけ、そこに住む人たちの翻弄される気持ちに思いを馳せました。横を流れる川辺川は、世の中の変革に感うことなく、変わらぬ美しい流れに身を任せていました。当日は人吉球磨同窓会の方々にも大変お世話

「楽しく登っています」〜S41会登山の会活動報告〜

10年前に受け取った、「学年の3名を発起人として、山歩きの会を足したい」という一通の手紙からこの学年活動は始まりました。

記念すべき第1回は、平成11年11月3日(祝)、行先は久住でした。牧ノ戸より登りましたが、山道脇の灌木の小枝に氷が張り付いていたのを覚えてます。2回目は阿蘇の烏帽子岳、3回目は鞍岳と続き、今年の11月7日(土)に登った久住の黒岩、泉水で、76回となりました。日帰り登山がほとんどですが、霧

島縦走、雲仙普賢岳、富士山、由布岳、開聞岳など泊まりがけで行ったこともあり。そういう時は連れ合いを同行する人もいて一層賑やかになります。また、今年8月の英彦山登山では、S37年卒の村山知之先輩に案内をお願いし、学年を超えた交流もできました。

毎月登っていますが、未だ参加する人は限られています。今後は人数も増やして学年の親睦、更に同窓会全体に広がっていかれば良いと思います。

卒業25周年記念同窓会〜S59年卒〜

夏真っ盛りの8月14日(金)、59会卒業25周年記念同窓会を開催しました。当時担任もしていた、生物の中村恭子先生と国語の岩崎靖先生をお迎えし、懐かしの北校舎3階の教室で模擬授業をしていただきました。多士会館での茶話会、路面電車を貸切ったの「ピアカー電」、そしてお決まりの懇親会と盛りだくさんの内容でした。51名の参加者の半数以上が、全イベントに参加。アメ



▲貸切市電のピアカー電。幸山政史熊本市長はS59卒!

リ力から駆けつけてくれた同級生も。そんな中で私達を何より驚かせたのは、先生方のお変わりない姿。時間をオーバーしての熱の入った授業に、逆に元気をいただきました。

中村友花理(S59卒)



▲中村先生、岩崎先生を囲み思い出す現役時代



▲頂に着いた時はいつも最高の気分です



▲国宝となった人吉の青井阿蘇神社見学

話になりました。

永村 勝子(S32卒)

〈参加申し込みは済々黷同窓会事務局まで〉
代表評議員 寺崎 温子(S41卒)

福岡

ますます元気な福岡同窓会 〜242名が集う!〜

去る7月4日に済々黷福岡同窓会が開催された。黄地に黒で染め抜いた三綱領大旗とのぼり鬻旗を配した会場に「済々黷純情」が流れる。いつになく出足が早い会員達。目当ての姜尚中(S44卒)東京大学大学院教授の講話に真剣な眼差しで聴き入った。懇親会では、母鬻の今を紹介する真開鬻長の話に、また懐かしい語り口調の恩師大津山・竹原両先生の話に各人の済々黷時代を思い浮かべていた。

かくしゃくとした城先輩(S11卒)の発声で乾杯! あっという間に大盛り上がり。余興の目玉のアダチちんどん一団(足達英明社長・S58卒※下段参照)が鬻歌を奏で入場すると宴もたけなわに。

最後は、皆で肩を組んで応援団に合わせたの鬻歌斉唱。過去最高の242人を集めた元気な福岡同窓会。本場に「出てから長〜い済々黷」の強い絆を感じる会であった。

実行委員長 山下 猛(S46卒)



▲特別講演をした姜尚中教授



▲大野稜福岡同窓会長



▲幹事S46年卒メンバー。横濱ベイスターズ村田修一選手(父・裕文さん)を紹介する山下実行委員長

でん伝 せん線 ねつ烈 きな黄



アダチ宣伝社長 足達英明さん(S58卒)

プロの「チンドン屋さん」足達社長率いる一行は先の7月福岡同窓会でも大好評。55年の歴史がある全日本コンクールでは近年3度の優勝をしている。

済々黷で楽器を始め、演劇部でキタわれたという学生時代。当時の運動会仮装や文化祭にも「アングラでマニアックなセンス」で没頭、その体験や同窓生の応援は「原点」になっていると振り返る。上京し数年のバンド活動したが、身の振り方に迷いながら九州に戻ると縁あってラジオパーソナリティーとなる。売りたいと思えば大衆に媚び合わせるのが近道の一つだが、根っからの「センス」を打ち消せず無理をしない自分へと踏み出した職業が「アダチ宣伝社」というチンドン業務。やると奥深い世界で15年になる。今はその独特の世界観でラジオや西日本新聞のコラムにも登場するが「実はこそばゆい気持ちなんです」とはにかむ我が鬻多士済々の一人である。



▲応援し喜んでくれる人に応える思いからは逃げられない、それがやがりがいでもあると語った。

広報委員長・坂井木綿子(S60卒)

市民公開セミナー 第4回 多士講座 蒲島熊本県知事が熱弁



蒲島郁夫知事

市民公開セミナー第4回多士講座が7月18日、熊本市上通町・ホテル日航熊本で実施された。

講師は蒲島郁夫熊本県知事で演題は「政治学者として、知事として」。政治学者となるまでの経歴、2008年4月熊本県知事となり県政を担う日々、その課題や展望について幅広く熱弁をふるった。後半は司会の大田黒浩一氏（S55卒）を交え質問に気さくに応じた。会場は約300人の参加者で満席であった。



▲知事には公務で超多忙な中、協力頂いた

同講座は済々黌同窓会と（財）多士会館主催で広く一般の方を対象とした教養セミナー。

次回は来年2月5日に実施します。※下段告知（総務委員長・今井政文S49卒）

2012年創立130周年を迎えます

来る2012年、本黌は創立130周年を迎えます。明治15年の創立から連綿と続く歴史の節目となるこの年、同窓会では様々な記念事業を計画しています。今年5月の大同窓会と昨年夏の代表評議員懇親会の出席者にアンケートを実施し、ご意見を頂きました。その中から賛同意見の多かった事業を中心に、記念事業準備委員会及び各委員会で検討を重ねています。全国の同窓の皆様にも母黌の歴史を再認識していただける様、またこれから済々黌を目指す未来の同窓生にも夢を与えられる様、有意義な記念事業を目指してまいりますので、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

◆主なアンケート結果

- ・立田山へ記念植樹
- ・済々黌シンポジウム
- ・済々黌杯スポーツ大会
- ・「130年の歩み」新聞掲載、特別番組放送
- ・全国大同窓会
- ・記念パレード
- ・北京大学附属中学校との交流促進
- ・ラッピングバス、市電の運行
- ・歴史資料整備保全
- ・本館新築記念品贈呈

げたばき塾で「黌歌成立の物語」を講義

▶会場の多士会館2階に約60人が集った



多士会館委員会が担当する「げたばき塾」が12月5日、開催された。内容は名物先生のお一人で国語科教諭、竹原崇雄・熊本県立大学名誉教授による『黌歌成立の物語』。それは古き良き日本の素晴らしい先人の教えと、それを同じ学び舎に介した若者へ託す強い思いに溢れた

話であった。仮に同窓の縁無き人でも「人を育てる」情熱に感動を覚えるであろうエピソードの数々。竹原教授自身「元教え子達に乞われて調べ始めたが、奥深さに“ハマッ”た」と語り、「迷いの時は道を示し、悲しい時は元気付け、喜びの時はそれを実感させる、誇るべき活きた歌だと思ふ」と述べた。参加者は胸の熱くなる話に、時折母黌教諭時代の笑い話も交じりながらの講義に聞き入った。（レポート・坂井木綿子S60卒）



竹原崇雄名誉教授

2010年5月21日(金) 創立128周年済々黌大同窓会

場所：熊本全日空ホテルニュースカイ
時間：総会 17:30～ 懇親会 19:00～
幹事学年＝平成元年卒

濟濟元年 ～いつだってはじまりだ！～

開催決定!

第5回 市民公開セミナー 多士講座

「信は力なり」～熱き感動を求めて～

入場整理券
(無料)
配布中

お席に限りがあります。
【全席自由】



◆講師：山口 良治氏

- ◇ 伏見工業高校ラグビー部 総監督 / 環太平洋大学 教授・学監
- ◇ 京都アクアアリーナ 館長 / 日本ラグビー協会評議員

◆日時：平成22年2月5日(金) 午後6時30分開演
(講演時間：90分)

◆会場：鶴屋ホール 東館7階
〒860-8586 熊本市手取本町6番1号 お問合せ 多士会館 096-345-3002

【著書】 * 「俺がやらねば誰がやる」(講談社)
* 「信は力なり」(旬報社)
* 「気づかせて動かす」(PHP研究所)

【放送等】 * NHK「プロジェクトX～挑戦者たち」
* 映画&TVドラマ「スクールウォーズ」